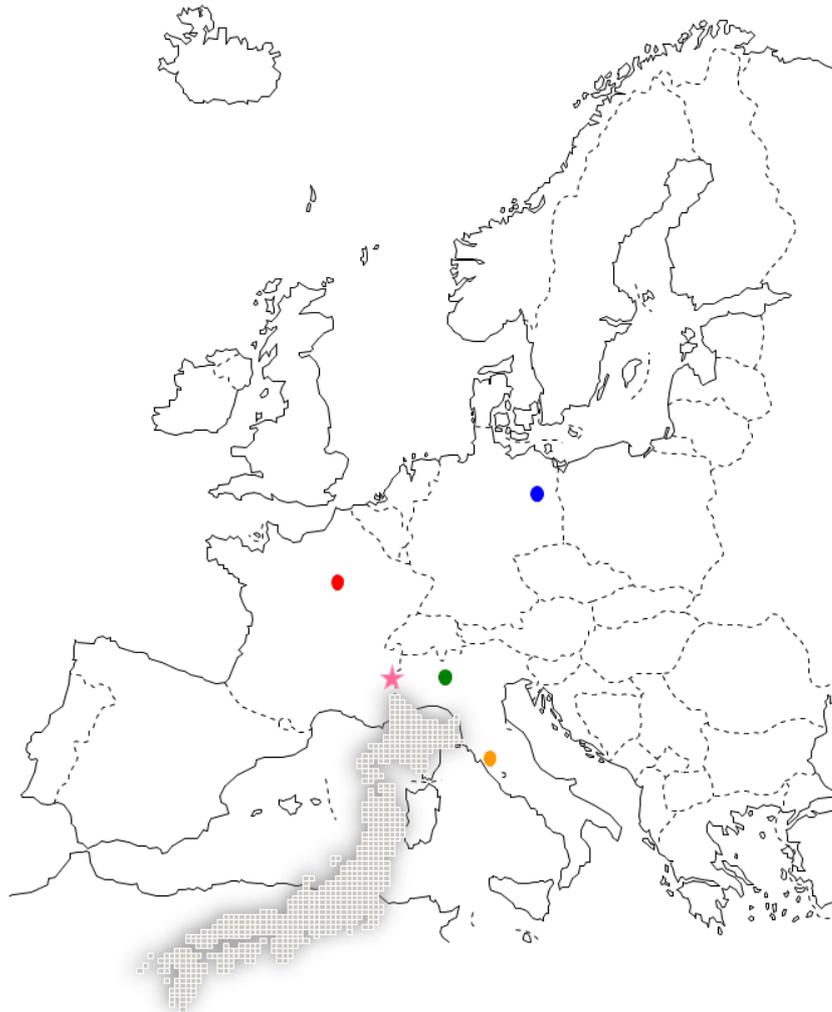




地域研究（欧州）

担当講師 入稻福智



- ベルリン
北緯52度30分59秒
- パリ
北緯48度54分44秒
- ★ 弁天島（稚内市）
北緯45度31分35秒
- ミラノ
北緯45度28分0秒
- ローマ
北緯41度53分35秒

上の地図より分かるように、ヨーロッパ諸国の大半は我が国より北にある。例えば、スイス、ドイツ、オランダ、イギリス、ポーランド、ハンガリーは我が国よりも北に位置する。我が国の最北端の都市である（ ）と緯度がほぼ同じヨーロッパの都市は（ ）である。

イタリアやスペインは、一般に「南ヨーロッパの国」とされているが、我が国と比べると決して南国とは言えない。特に、両国の首都であるローマやマドリッドは、東京よりも北にある。なお、東京より南に位置する都市は、ヨーロッパにはほぼ存在しない。

〔問題〕① 我が国と面積がほぼ同じヨーロッパの国を挙げなさい。

② 1991年10月までドイツは東西に分裂していたが、かつての東ドイツの面積とほぼ同じヨーロッパの国を挙げなさい。



問題1 上の地図より分かるように、ドイツとオランダは国境を接している。道路のセンターラインが両国の国境となっている地帯では、走行方向に向かって東側がドイツのアーヘン(地図内の①)、西側がオランダのマーストリヒト近郊(②)となっている。

アーヘンとマーストリヒトは、共に、欧州統合史上、重要な都市であるが、それぞれどのような点で重要か説明しなさい。

問題2 ヨーロッパ統合史において、イスタンブールはどのような点で重要か説明しなさい。

問題3 ベルギーの首都の名前を挙げなさい。また、この都市はEU統合過程においてどのような点で重要か説明しなさい。

問題4 以下の文章読み、誤りがあればその箇所を指摘し、正しなさい。

- ① ロシアは国土の大半がヨーロッパ大陸上にあり、民主主義や人権保護が徹底しているため、ヨーロッパの国として捉えることができる。なお、現在、ロシアの大統領を務めているレーニンは、自ら行った2019年9月の憲法改正により、終身、大統領職に留まることができるようになった。
- ② バルカン半島には宗教や言語を異にする多くの民族が住んでおり、紛争が繰り返されてきたが、第2次世界大戦は、1914年7月、同半島にあるユーゴスラビアを併合したオーストリアの皇太子夫妻がユーゴスラビアの首都サラエボで殺害され、オーストリアが報復を加えることによって始まった。同戦争後には半島内の7つの国がまとまり、ユーゴスラビア連邦が成立し、冷戦期にはソ連の影響下に置かれたが、1989年に冷戦が終結すると、再び分裂した。それによって民族対立が再燃したが、ユーゴスラビア連邦を承継したセルビアがコソボの住民を迫害した際には、EU・NATOがセルビアを攻撃した。その後、コソボはセルビアから独立した。
- ③ 冷戦終結後、ユーゴスラビアから独立したマケドニアは、古代ギリシアを統一したアレクサンドル3世（アレキサンダー大王）の祖国である。しかし、ギリシア人は3世をギリシア人と捉えていること、また、ギリシアにもマケドニアの名がついた地域があることから、ユーゴスラビアから独立した国が「マケドニア」と名乗ることに抗議してきた。なお、ギリシアはすでに1972年よりEUに加盟しており、マケドニアがEUに加盟するにはギリシアの同意が必要であることから、マケドニアは譲歩し、2018年1月、国名を北マケドニアに変更した（マケドニアに「北」を付けた）。
- ④ イベリア半島の大部分はスペインの国土となっており、同半島の南端付近にあるジブラルタルはスペインの領土の一部である。
- ⑤ ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマークの4国をスカンジナビア諸国と呼ぶ。これらの国の間では独自の政策協力・交流が発展しているが、デンマークはいち早くEU（当時は3つの欧州共同体）に加盟し、ドイツやフランスといった他のヨーロッパ諸国とも政策を共通化した。これに対し、残りの3国がEUに加盟したのは冷戦終結後である。

- ⑥ イタリア半島を制圧したローマ帝国はヨーロッパ大陸の広い範囲を支配した。例えば、ライン川沿いの都市ケルン（ドイツ語では Köln、英語では Cologne）は、帝国の植民地、つまり、コロニー（Kolonie/colony）が名称の由来となっており、2000 年あまりが経過した現在でも帝国の遺跡が残っている。ケルンはカトリックの大聖堂が建てられていることでも有名であるが、約 2000 年前、中東のパレスチナ地方で生まれたキリストの死後、弟子達によって布教が開始されたキリスト教は、当初、ローマ帝国の厳しい弾圧を受けた。しかし、4 世紀後半に帝国の国教となり、その後、世界中に広まっていった。同様に、ローマ帝国の法（ローマ法）も多数の国に大きな影響を与えた。そのため、「ローマは世界を三度征服した」と言われることがある。このように広い分野で隆盛を極めたローマ帝国であるが、395 年、東西に分裂した。その内の一つである東ローマ帝国は、オスマン帝国によって滅ぼされるまで 1000 年以上に亘り存続したのに対し、西ローマ帝国はすぐに弱体化し、その領土にはゲルマン系のフランク族が新しい国を興した。フランク王国と呼ばれたこの国は、カール大帝の時代に最も領土が広がったが、これは現在のイタリア、フランス、ドイツ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの領土に重なる。なお、第 2 次世界大戦後には、この 6 ヶ国によって 3 つの欧州共同体が設立された。カール大帝の孫の時代、王国は 3 つに分裂したが、その内の一つである東フランク王国は現在のフランスを領土とした。なお、フランスという国名は、この王国ないし民族名、つまり、フランクに由来している。
- ⑦ 最初のヨーロッパ人と呼ばれるカール大帝はドイツ王国の首都をパリからブリュッセルへ移した。